

企業A

資料2

1. 貴社や、貴店舗で食に関わる取り組みは実施されていますか。

- ・バランスのよいお弁当、惣菜の販売
- ・健康に配慮した商品の品揃え
- ・栄養バランスのポップ等の設置
- ・たんぱく質のPOP、てまえどり
- ・てまえどり、フードロス削減（行政との連携）
- ・サラダ等のヘルシーな食材の拡販を行っている
- ・創業50周年を迎え、会社のビジョンの1つに「健康」を入れた

2. お客様を通して食について感じておられることはありますか。

（野菜のお惣菜を購入される方が増えた、若い男性は揚げ物をよく購入されるなど、数値として出ているもの以外でも、普段感じておられることがあればご記入をお願いします。）

- ・糖質を抑えた買い物をされる方が増えた。ジュースより水、お茶を購入される方が増えた
- ・サラダ類の販売が以前より増加した
- ・男性が野菜やヘルシーな鶏肉等を購入される方が増えたと感じる
- ・男女での買い方の変化が少なくなっている。男性でもサラダなどの購入が増えている気がする
- ・男女問わず、サラダチキンや豆腐バーなど高タンパク低カロリー商品の購入が増えている
- ・価格への意識が高くなってきている
- ・栗東市に限らないことだと思いますが、年配の方以外は以前より健康志向が強くなったように思います

3. 今後、実施したい食に関わる取り組みはありますか。

（実施されるかの有無に関わらず、あればご記入をお願いします。）

- ・栄養士監修のお弁当などを品揃えしたい
- ・野菜や果実が摂れるスムージーのすすめを実施
- ・ヘルシーな食材の拡販を進めていきたい
- ・地産地消の取り組み（滋賀県フェアなど、期間限定商品、行政との連携）
- ・健康に配慮した商品が一目で分かるPOPを掲出
- ・フードロス削減・・・例としててまえどり

4. 今後、栗東市が食育に関して進めるべきだと思う取り組みや、コラボして行いたい取り組みはありますか。

- ・健康に配慮した商品を市の広報誌で紹介して欲しい
- ・地産地消
- ・地元食材を使った商品開発 いちじくなどを使ったスイーツ
- ・蜂屋こんにやくを使用した商品の開発
- ・栗東トレセンとのコラボ

5. その他、食、食育に関して自由にご記入ください。

- ・フードロスにも取り組む
- ・冷凍はダメというイメージがあるが、保存料の使用を抑えられるので、啓発活動などを実施してほしい。
- ・コンビニの利用者は若い人というイメージがあるが、当初から利用層は変わってきており、現在の利用者は高齢者も多く、むしろ若い人の取り込みが課題といえる
- ・市と連携した取組は、市を盛り上げるためにやりがいがある。

・栗東市とは高齢者のフレイル予防としてタンパク質に関するポップ掲示を行ったことがある